



「ごみモノ語り」を作ってみよう！

お家から捨てられる「ごみ」をじっくり見てみよう。その「ごみ」が捨てられるまでどのように過ごしたか、ごみの一生について考えてみたことがありますか。普段なにげなくお店で買ってきて、お家のみんなが食べて使って、いまごみ袋に入っている「ごみ」を、学校で学ぶ歴史のようにたどってみよう。ここでは、「ヨーグルト」を例にしてモノ語りを作ってみました。

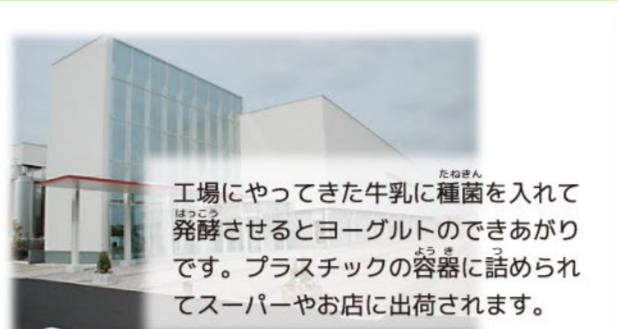
ごみとなったヨーグルトのモノ語り

牛乳時代（原料）



乳牛がたくさんの牧草などを食べて牛乳を出します。この牛乳がヨーグルトの原料になります。たくさんの牛乳がしばらく工場に出荷されます。

ヨーグルト時代（製品）



工場にやってきた牛乳に種菌を入れて発酵させるとヨーグルトのできあがりです。プラスチックの容器に詰められてスーパーやお店に出荷されます。

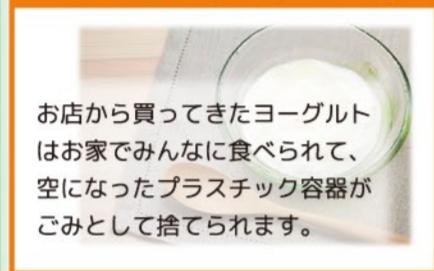
容器の原料・製品時代もあるよ！

店舗時代（商品）



工場からお店にやってきたヨーグルトは、きれいに棚へならべられて、商品としてスーパーやお店で売られています。

家庭時代（消費・廃棄）



お店から買ってきたヨーグルトはお家でみんなに食べられて、空になったプラスチック容器がごみとして捨てられます。

リサイクル処理時代（再利用）



ごみとなった紙・プラスチック容器は分別して捨てれば、紙は段ボールなど、プラスチックはパレットなどに生まれ変わります。

京都環境保全公社

製造工場や建設工事などから発生するごみのリサイクル、焼却減量、建立安定化の実験処理をされている地域密着の企業、京都環境保全公社様からアイデアをご提供いただきました。ごみのトータル処理を通じて、地元地域とともに循環型社会推進に貢献しておられます！

生きもの探しの心得

生きものを探してみよう！

①準備

どこへ行くか決めよう

採集において一番大切なことは、生きものがいる場所を探すことです。いろんなところへ何度も出かけて行って、自分の経験を磨きましょう。



服装

基本的には、普段着ている服+脱ぎにくい靴（運動靴など）で大丈夫です。ただし、山や草むらなどでは草木で皮フを切ったり、生き物にかまれたりすることがあるため、長袖・長ズボンを着用しましょう。

道具

道具がなくても、手をお範囲にして、上から優しく素早くかぶせることで、生きものを捕まえることができます。

あれば便利なものは、生きものを捕まえるための網（水辺では底が平らな \times タモ網）がオススメ！、生きものを入れておくための虫かごや洗濯ネット、軍手、スケッチの道具、カメラ、虫籠などです。

②採集

探してみよう

草むら…耳をすまし、目をこらしながら草を蹴散らして歩くと、生きものが草から音を立てて飛び出す姿が見られるはずです。

茂っている草の根元を網でササガサすると、うまくいけばヤゴや小魚やエビなどがたくさん採れます。

③観察

観察してみよう

生きものを捕まえたら、すぐに回鑑を使って種類を調べてみる…のも良いのですが、見た目や暮らしりよく観察して、自分なりに名前をつけてあげるのも面白いです。

記録に残そう

捕まえた生きものをスケッチしたり、写真を撮ったりすると、後からでもその生きもののことを思い出せて便利です。

④観察が終わったら

生きものは元の場所へもどすか、責任をもって飼おう

生きものの観察が終わったら、元いた場所へ生きものをもどしましょう。なぜかというと、別の場所で生きものをはなしてしまうと、元々そこにいた生きものを追い出しちゃったり、種が混ざり合っちゃったり、どんどん増えて環境を変えてしまったりするかもしれないからです。また、生きものをそのまま飼う場合は、事前に飼い方を調べて、責任をもって飼いましょう。

ごみは持ち帰ろう

自分が持参したものは、必ず自分で持ち帰るようにしましょう。そうしないと、その場所から生きものがいなくなってしまうかもしれません。

手を洗おう

生きものをさわった後は、目や口のまわり、傷口をさわらないようにしてください。また、家に帰ったら、必ず手を洗いましょう。

牛乳パックから画用紙を作ろう！

『牛乳パックで紙すき』

牛乳パックを紙すきして、画用紙にしてみましょう。一番簡単で身近な方法をご紹介します！

材料・道具

- ①牛乳パック
 - ②水
 - ③洗いおけ等
 - ④針金ハンガー
 - ⑤ミキサー
 - ⑥ストッキング
 - ⑦洗濯のり
 - ⑧新聞紙
 - ⑨レジャーシート
 - ⑩ぞうきん
 - ⑪ティッシュ
 - ⑫アイロン
- (⑦~⑫はなくてもOK)



1

まずは、洗った牛乳パックを開いて、2晩3日おけに入れ、水につけておきます。
★ 紙巾で切ってから水につけてもいい感じです

2

パックの表面と内側のポリエチレンフィルムをていねいにはがします。

3

針金ハンガーを好きな形に曲げ、ストッキングをはって、紙すき道具を作ります。
★ 希望サイズよりひと回り大きく作ろう

4

紙パックを小さくちぎります。

5

ミキサーに1リットルの水を入れ、ちぎった紙パック1個分を少しずつ入れていきます。
それをミキサーにかけてパルプにします。
★ かたまりがなくなるまでドロドロに！

6

できたパルプに洗濯のり大さじ2杯くらいを入れます。

7

紙すきでパルプを金魚くらいの大きさにします。
★ 乾燥したら完成！

8

水を切って乾かします。

9

そのまま乾燥させてもいいのですが、乾いてきたら端からていねいにはがして、葱にはるときれいに作れます。

10

乾かしている間に掃除します。

11

好きな絵をかいてね！
クレヨンでかくといい感じ

日本ウエスト 株式会社

夏休み宿題お助け隊！特別企画

JT生命誌研究館

生きものを考え方！

いつも見かけるスズメやアリやタンポポは、みんな私たちの仲間だということを知っていますか。なぜなら生きものは、みんな38億年前に生まれた最初の生命の子孫だからです。最初の生命はどんなものだったのか、そこからどうやっていろいろな生きものが生まれたのか、生命誌研究館に来て探しませんか。

展示ホールには、骨やタマゴの形を比べたり、水から陸へ、陸から空へと生きもの進化をたどったり、楽しいしあげが待っています。平安時代の「蟲愛する姫君」や「冒険好きのエルマー少年」と一緒に、生きもの進化の旅に出かけましょう！



入館無料 / 10:00~16:30 / 日・月曜日休館
電話 072-681-9750 http://www.brh.co.jp
JR高槻駅 徒歩10分 / 西鉄高槻市駅徒歩18分

夏の催し「実験室見学ツアー」

7月30日（土）13:30~16:30（13:00受付開始、定員80名）



イモリやチョウなど身近な生きものを最先端の科学の目で研究する実験室をのぞいてみましょう。生きものを見ながら、研究員の話を聞いたり、質問したりすると、きっと発見がありますよ。最初に中村桂子館長のお話があります。チョウが訪ね、幼虫が葉を食べる「食草園」、お楽しみコーナーは開催中いつでも入れます。

日本ウエストグループ

世界中の未使用なものを再生する、エネルギー特化した提案型企業である日本ウエストグループ様からアイデアや素材をご提供いただきました。廃棄物を発生現場にて分別し、RPF（燃料）として再資源化している同社の、分別・活用の考え方を活かしたアイデアです！